

「学力向上ポータルフォーリオ」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

実現のための4つのいっぱい（教師・児童・保護者・地域）

- ・ 友だちとなかよく笑顔いっぱい
- ・ 学習に力いっぱい
- ・ 運動に元気いっぱい
- ・ 学校をきれいに汗いっぱい

＜本年度の学力向上策＞

1 基礎的、基本的事項の確実な定着

- (1) 分かる喜びや表現する喜びを実感できる個に応じた指導の工夫<Grit>  
(スクールアシスタント等の効果的活用による少人数指導、課題別学習の充実、少人数寺子屋方式による指導)
- (2) 全国学力学習状況調査とさいたま市学習状況調査の分析と活用<Growth>  
(小・中の連携を図り、各教科の成果と課題の把握、全教職員で共通理解の上、授業改善へ活用)

2 思いやりの心もち、ともに助け合う子どもを育成<Global>

- (1) 道徳の全体計画、年間指導計画の見直しと授業時数の確実な確保を行う。
- (2) 特別の教科道徳で、ブロックごとに研究授業を1回行う。
- (3) G・S科の時間確保と指導の充実を図る。

3 家庭・地域と連携した学習環境の整備

- (1) 6年間の児童の成長過程を見通した一貫性と系統性のある学年経営の確立
- (2) 特別支援学級、通級指導教室と通常の学級との連携の下での交流及び、共同学習の推進
- (3) 地域の人材を活用したチャレンジスクールのさらなる充実<Global>

Grit …「やり抜く力で真の学力を育成すること」

Growth…「一人ひとりの成長を支え、生涯学び続ける力を育成すること」

Global…「国際社会で活躍できる人材を育成すること」

＜本年度の振り返り＞

- 算数の授業において、スクールアシスタントや少人数指導の先生を配置することでT・Tの指導を行い、児童への支援を充実させることができた。
- 全国学力学習状況調査では、教育研究所の学校カウンセリングでご指導を頂いたり、さいたま市学習状況調査では、結果を分析し、児童の実態について職員で共有したりすることで、児童の実態に合わせて指導の工夫・改善をすることができた。
- 特別の教科道徳について、研修に取り組み、ブロックごとに研究授業を行うことができた。導入・板書・ワークシートの工夫、評価の仕方を共通理解することができた。
- 放課後チャレンジスクールだけでなく、地域と連携を図り、地域の人材をクラブ活動などにも生かしていけないか検討していく。